



SSKS



ほっと

「ほっとスペース八王子」ニュース

2014年4月号

144号

定価100円

編集人 八王子市八幡町一三二「ふくしまやビル」階
Facebook 発行所 郵便振替 電話番号 04-2621-3119
HP URL http://homepage2.nifty.com/hotspace/
E-Mail CXCBO1672@nifty.ne.jp
04-2621-3119 障害者団体定期刊行物協会
世田谷区砧六二六二二 障害者団体定期刊行物協会
https://www.facebook.com/hachioji.hotspace

「ほっとスペース八王子」（事務局：堀部正）

CONTENTS

2013年を振り返って … 2頁

山海珍味／ほっとスペースのボブ・ディラン／山口咲子
／菊池春海／H・O／孫悟麺

2014年の抱負 … 3頁

山海珍味／ほっとスペースのボブ・ディラン／MONSTER
／リネカー／山口咲子／今健太／P. 6000＝大平
学／菊池春海／H・O／孫悟麺／堀部正

御岳山日帰り旅行 … 7頁

山口咲子／リネカー／孫悟麺

韓国旅行レポート … 9頁

今健太／ほっとスペースのボブ・ディラン

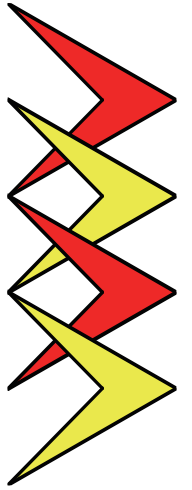
映画評 … 13頁

（魔法少女まどか☆マギカ 新編 叛逆の章）孫悟麺

巻末コラム … 16頁

（就労継続支援事業という形での活動）安兵衛

編集後記 … 16頁



2013年を振り返って

山海珍珠

2013年は、ほっとスペースにとって新たな挑戦の年でした。NPO法人格を取得し、総合支援法（旧自立支援法）の法内へ移行することになりました。

実際に移行してみると、やはり通所する会員の確保ができなかったり、常勤職員の退職などで、職員不足におちいったりと、困難な事態に陥りましたが、年の後半には、徐々にほっとに通う会員さんの数も増え、またあらたな常勤職員さんの加入もあって、活を取り戻しました。

夕食会改め、昼食会もメニューが充実、通常プログラムも当事者の皆さんのニーズにこたえられるものとなり、軌道に乗ってきたといえます。

昨年は、基礎づくりの年でしたが、2014年はそのレールに乗ってさらに飛躍する年となるようにしていきたいと思っています。

2013年の振り返り

ほっとスペースのボブ・ディラン

2013年も12月になってしまいました。今年も残すところ、あと1カ月、この1年をざっと振り返ってみたいと思います。

今年は担当するプログラムの数が1つ増えました。

夏頃から英会話が始まりました。Sさんという女性の方と僕が半分づつ担当する事になりました。

た。やってみると意外に難しいという事が分かりました。

僕は米会話のテキストを元に教えていますが、内容を100%理解していません。人には教えられるとは思いますが、これによって、英語の勉強する機会が増えました。

TOEICの勉強も平行して始め、



11月には試験まで受験してしまいました。まだ結果は返って来ていません。TOEICの試験はなかなか難しいですよ。皆様も一度トライしてみてください。

英会話を教えていてうれしい事があります。それは出席者の方達がとても真剣に学んでいるという事です。こちら

も、皆様の実力を少しでもあげなければと思っています。

もう一つ担当しているのが映画会ですが、これは一人で担当しています。これにも変化が見えて来ます。皆で映画を

見てから、最後に個々に感想を聞くのですが、皆様が素晴らしい感想を言うようになって来たという所です。ここにも真剣さが感じられます。

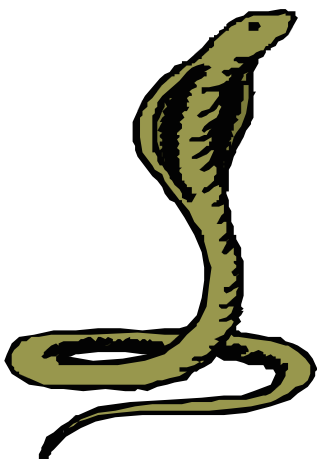
次は出席率についてですが、僕は月曜から金曜日までなるべく毎日出席しようと思っています。たまに、体調が悪くてまとめて3、4日休暇を取って

しまう事もあります。2013年は1月から12月まで、僕の出席率は良い方だと思っています。

その次は就職活動についてですが、現実にはなかなか難しいというのが実感です。実習までたどり着いた物もありますが、就職までいきませんでした。しかし、まだ就職を諦めた訳では決してありません。今後も就職活動は継続したいと思っています。

それからランニングについてはありますが、ウェアと靴は買ったのですが、1月になって一回走っただけで、止めてしまいました。今、毎日自転車に乗っていますが、ランニングとまでは行かないまでも、「歩き」をもっと増やしたいと思っています。住んでいる町に散歩コースを設定したので、そこを歩く機会をもっと増やしたいと思っています。

昨年の振り返りはこの辺で終わりにしようと思います。



2013年を振り返って

山口咲子

今年の夏はとても暑く、特に連日熱帯夜がつづいていたのが印象的だった。私は熱中症にならない様に色々心がけた。

たとえば、日中なるべく外出をさけるようにした（特に日差しの強い日）。それから、水分をまめに取るようにした。他人のアドバイスが無くて、この猛暑をのり切れたことは自分にとって大きな自信となった。

今年の回顧

菊池春海

私は市営住宅に2年前位から住んでいます。友人に言わせると転居してから、半分は入院していると言われました。

私は、何年か前から糖尿病を患い、どうしても食事療法が自分では今では出来ない体になっています。

自分でカロリーの低い食事をしなければならぬのですが、うまく作れませんが。そのために、入院を繰り返して

いる状況です。

この一年間は、そういう状況です。

今年の振り返り

H・O

今年の春は、月に一度はほっとスペースの映画会に

来れたのですが、今年の夏に母親が転んで骨盤骨折をしてしまったので、四ヶ月間、ほっとスペースに来れませんでした。

母親の骨折が治ってから、月に一度はほっとスペースに来れたので、良かったと思います。

2013年を振り返って

孫悟麴

2013年のスタートは、正直言って上々たる出来とは逆方向にあったと

2013年を振り返って

しか思えなかった。週5回の通所ができず、試験暫定的に行った風食会も、

モチベーションの問題で飛び飛びの開催になり、さらに人間関係でのストレスなど、展望

もなく下がり調子のまま、「ほっとスペース八王子」の非常勤職員を拝命することになってしまった。

どうにかして日々の流れをつかみ、滞ることなく風食会を続けていても、一抹の不安感も拭ききれないでいた。年度が替わっても、自分を苛立たせるには十分すぎるほどの出来事が積み重なっていたにもかかわらず、ことこ

とくそれをのり切り、あまつさえ理事の拝命まで頂いた。

どうやら自分がここまで来れたのも、結局は「ほっと」の仲間のおかげだと改めて思った。時にはストレス源にもなるけれど、それにもましてモチベーションを与えてくれる存在、それが「ほっと」の仲間なのだ。要するに感謝の一年だったということ。

2014年の抱負

山海珍味

2013年は、社会の先行きが不透明であり、また自民党安倍政権の強引ともいえる「秘密保護法」の成立など、ネガティブな動きが目立ちました。

しかし、今の時代は、一見不安定、不透明、希望が見えないように思いますが、大きな視点から見ると、大転換、大いなる飛躍の時です。社会の表面上は、ネガティブな動きが目立ちますが、深部において大いなる変化が予感されます。

今年にその動きが表面化するかどうかは定かではありませんが、ネガティブな動きに惑わされることなく、明るく未来を作り出していきたいと思います。

2014年を

迎えるにあたって

ほっとスペースのボブ・ディラン

2014年を迎えるにあたっての抱負はいろいろありますが、三点ぐらいに絞ってみたいと思います。ウォーキングと英会話教室と映画会の三つです。

まず、ウォーキングですが、2014年になってからなるべく早く始めたいと思います。すでに述べた「散歩コース」をなるべく多く歩きたいと思っています。一周45分くらいなので、ちょうど良いと思います。

次に「英会話」ですが、今年も継続出来ればと思っています。そして、生徒の皆様の実力を少しでも上昇させ、「海外一人旅」が出来るくらいの実力にできればと思っています。

テキストもすでに入門編、初級編、中級編まで購入して準備しています。

最後に映画会ですが、これも今年も継続出来ればと思っています。

他人のリクエストも取り入れ、自分のリクエストも反映出来ればと思う次第でございます。皆様がたくさん出席し、観ていて本当に楽しいと思える様

な映画会に行きたいと切に願っています。

※編集部より

ここから、前年の回顧と今年の抱負を一緒に書いている人がいるので、そういった人たちの文章も混ぜて掲載します。



2014年の抱負

2013年を振り返って

MONSTER

昨年の十一月九日、ほっとスペース八王子にかようようになり、1年になります。

最初の時は、つづくか心配でした。みなさんのおかげで、今年1年もちました。自宅の用事をしながら、ほっとスペースに顔を出したりです。作業の仕事は好きです。前に、父の仕事の手伝いをしてましたので、ほっとスペー

スでやくにたつとは、思ってたかったです。

2013年も1年ぶじにおわりそうです。近所でよかったです。

今年で、2年になります。今年も、去年以上にがんばります。

2014年の抱負

リネカー

昨年は百馬ラーメンの清掃と、台風の日以外は、全てこなせたので、大きな自信になりました。

百馬ラーメンの清掃は職員の方が手伝って下さるので、とても助かります。又、百馬ラーメンの清掃があるために、毎朝、決まった時間に起きる事が出来て、規則正しい生活が送れるようになり、とてもよく、又、とても清々しい毎日を送っております。

今年は2013年と同様に、百馬ラーメンの清掃を中心として、規則正しい生活を送り、また不景気ですけれども、アルバイトを何とか見つけて、少しでもお金を稼ぎたいと思います。まだまだ不況は続きますが、何とかアルバイト等で、お金を稼ぎたいと思います。

来年の抱負

山口咲子

去年1年の懸案事項として、自宅のゴミブリ問題というのが残った。

ゴミブリというのは、人間の活動とともに、えさをもとめて生活する。したがって、まず水回りをきれいにすること、自宅内の掃除、それにもなつて、バルサンなどの殺虫剤の塗散布。私は、一人暮らしなので、ちょっとした心掛け一つで、例えばゴミブリ問題一つ取ったとしても、劇的な改善が見込めるのではないかと思います。

昨年を振り返って

今健太

昨年は、ほっとスペースに入り、はじめての年です。

絵画教室をまかされて、はじめはどうやってまとめていくか、悩みました。大きな声でおしゃべりする人をどうやっても注意できない自分は、落ち込んで体調をくずしたりしました。またそれぞれ、いろいろな性格や病気の人もいるので、人見知りの私にとって

は、なじむのに大変苦労をしました。しかし、善意銀行等で、休みの日も、コンサートに見に行けたりするのは、気分転換になりました。新宿方向に出かけたりする機会も増えて、よかったです。また、大変なのは、毎日のプログラムをこなすことです。ハングル語、中国語、英会話等、語学の勉強もあり興味深く、ラジオ等で勉強するより、よくわかるので嬉しいです。スポーツもサッカー教室や泳ごう会もあります。

年末には、韓国旅行も行けました。本当に楽しかったです。

先週は(12月最終週)、キムチ作りをしました。本場Mさん指導の秘伝のキムチ作りを学ばせてもらいました。今まで何度もキムチ作りを自分でして、うまくできなかったのですが今回は、うまくできそうです。

今日(12月25日)は、餅つき大会でした。もち米の量でずいぶんめめましたが、今日の量でちょうどよかったと思います。ほんとにほっとは、食べる機会が多いです。とてもいろいろな物を食べた一年でした。

2014年については、毎週5日も来ていると、疲れてしまうので、週3〜4回にしたいと思います。また、気持ちを抑えずに、まわりのみんなの様

に、自己主張をして、はっきりとできない事は、断れる様になりたいです。また、語学の勉強を続けて上達したいです。

新入の挨拶と今年の抱負

P・60000 太平 学

昨年(2013年)11月に「ほっと」に入所した太平学です。

クレープ屋で働いています。

基本は作家志望です。主に小説はプロットを、エッセイは1作品800字くらいを目安に興味で楽しんでいきます。

さて、僕が八王子の「ほっと」にやってきたきっかけを言いますと、「ほっと」の元スタッフのHさんと知り合えたことです。ある日、東京から遠方のある講演場所へHさんは、書籍販売を手伝っていました。その会場に出展していたHさんのすぐ隣で僕のチームも同じフロアで書籍販売を行っていました。Hさんが不思議そうな顔をして腰掛けていました。そこで近寄って話を聞くと「八王子」からやってきたと伝えられました。

僕は近くに住んでいたので八王子といえど都内23区郊外では1、2を争

うような人口密度の八王子ですから、人脈を拓げる意味で何か得ようと名刺交換をさせていただきました。

そして、昨年11月「ほっと」へ。名刺を交換して早二年、月日が経っていました。「ほっと」がどんな雰囲気か安易に興味本位で尋ねたところイメージは、メンバーのみんなは優しい方々なので、誰でも通えるデイクエアに似て



精神障害者にとって気兼ねなく過ごしやすい場所でした。Hさんに逢えるかな?楽しみにしてやっと望年会で出会えました。

Hさんの名前、今年の流行語だったしたので、「偶然で面白いなあ」人生どこかでつながりがあるのだと何が起るのか解らないのを知るのは楽し

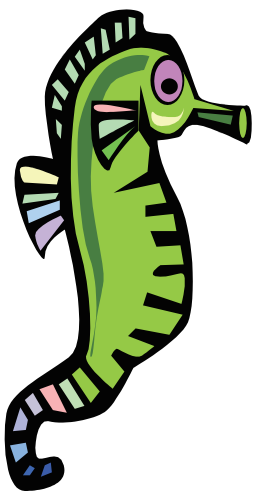
かったです。

最後に今年の抱負。答えは自分の足で見つけますが、作家の材料になる生きたヒントを得たくて活動場所を拡大することです。その先に楽しい思い出作りする環境を整えて、親元から自立できるように準備をしたいです。自分の生きた時代の1ページをみなさんと作っていきたいですね。

今年の抱負

菊池春海

去年は、糖尿病のために半分は入院、退院の繰り返しでしたが、来年は、うまく、自分自身のためには、自覚してなるべく入院せずに食生活をつましくコントロールして、過ごそうと思っています。又、ほっととは最低でも週4日はコンスタントに出席したいと思っています。そして色々とプログラムを今迄、苦手としていた物にも挑戦してみたいと思っています。



今年の抱負

H・O

今年の抱負は、病気の具合にもよりますが、月、一度から二度は、ほっとスペースの映画会に出て、ほっとスペースの皆さんと交流をしていきたいと思っています。

今年の抱負

孫悟麵

どうにも自分は、具体的な目標を立てても、実現に向けて努力するといったことが苦手だったようで、どんな計画も画餅に帰すばまだいいほうで、餅の絵さえ描けない状況だったのが、ここ数年の自分の傾向だった。したがって、抱負があったにしても、前のめりにならず控えめに行こうと思う。とりあえずの目標は、病気を治すこと。といっても気分障害ではなく、最近糖尿病の傾向が出てきたので、重症化しないうちに何とかするつもりである。

もう一つは、クリエイティブなことを進めたいということ。いわゆる同人

活動でもいいし、地味にピクシブで絵をアップするとかとにかく創作活動ができる環境をつくっていききたいと思っている。

二〇一三年を 政治を中心に振り返る

堀 正明

二〇一三年二月一九日午前、東京都の猪瀬直樹知事が辞任を表明しました。

今年（二〇一四年）は自分にとって大きな選挙がない年になるつもりでしたが、二月二日にも知事選が予定されています。（※実際の投票日は二月九日でした）

ここ一年の選挙を振り返ると、一年の総選挙・東京一五区（江東区）柿沢未途（みんな・当時）・比例・共産・最高裁・全部×、知事・宇都宮健児、六月の都議選（江東区）畔上三和子（共産）、七月の参院選・東京・山本太郎（無）・比例・鴨桃代（社民）に投票しました。

一番悩んだのは七月の参院選東京選挙区です。吉良佳子（共産）とどちらに入れようか迷いましたが、結局二人とも高得票で当選し嬉しかったです。

二〇一三年前半は「ほっと」で都議選・参院選の候補者・政党アンケートに追われました。私なりに役が果たせなかなあと思っています。

私は自分でも支持政党が共産党か社民党か分かりません。

一昨年（二〇一二年）の総選挙では、



共産党八人・社民党二人に落ち込みました。特に社民党は当選者の二人が共に九州で「地域政党」になったかと思っただけでした。

都議選の前哨戦として、前橋・北九州・大分の三大市議選があります。自治体議会については「唯一の野党」共産党を支持していますが、私の出身の大分市で共産党が現有四人を一つ落と

して、年の前半は絶望的な気分になりました。

しかし六月の都議選は、共産党は現有八人を倍増させ一七人になりました。

（社民党は世田谷区で候補を立てたが、落選しました。）続いて参院選でも共産党は二年ぶりに選挙区で勝利し、改選三人を八人に倍増させました。一方で社民党は改選二人を一人落とししました。

社民党の選挙連続敗戦を受け、福島瑞穂党首が辞任し、吉田忠智さんが新党首になりました。労組（自治労）丸抱えの議員ですが、大分選出の社民党党首は村山富市首相以来なので少し期待しています。

二〇一三年後半は、まずオリンピック招致がありました。

二〇一四年私が戻る江東区に、オリンピックのメインスタジアムが多く造られるのですが、どうせ生で見られるわけないし興味ありません。それよりも東京オリンピックで貴重な税金が、私たち障害者・経済的弱者に回ってこなくなるのではと危惧しています。

そして秘密保護法の強行です。「何が秘密？それが秘密」と言っるのが一番怖い。

私は精神科病院附属のグループホー

ムに住んでいて、生活に制約がありません。しかし（2013年の）一月二六日・衆議院通過の日、いてもたってもいられず国会に向かいました。

朝（八時〜九時）・昼（正午〜一時）の官邸前デモ。昼は激励にかけつけた福島瑞穂・社民党副党首と握手しました。午前は議員会館で吉川元（社民・比例九州）議員室に伺い本会議の傍聴券をもらいました。一時を待って地下の食堂で食事（昔は安かったのですが、今は「普通の食堂」になりましたね）。

その間に特別委員会で、討論抜きで強行採決になりました。午後は議員面会所で本会議が始まるのを待ってました。インターネットテレビを紹介されたり、共産党の集会で赤嶺政賢議員のあいさつがあったりしました。

本会議が結局六時四五分開会で、グループホームの門限に合わないことから、見も知らずの人に傍聴券を譲り国会を後にしました。

今年（二〇一三年）はグループホームでの風呂当番が日曜から金曜に代わったので、土・日の講演会・集会への参加が随分可能になりました。三・一の原発事故から原発の動きも気になりましたが、一番興味をもったのは安倍首相の「改憲」に絡んで憲法の動

きでした。

今はグループホームで「読売」を読んでいます。食堂・薬局等で「朝日」「東京」を読むよう心がけています。「社会新報」を購読し、「週刊金曜日」をほとんど毎週買っています。そして清水ひで子・都議事務所「赤旗」（日刊・日曜版）を読んでいます。一方で夜はとも早く、九時までには寝るので、タベ（二〇一三年二月一八日）の猪瀬知事辞任の速報は今朝まで知りませんでした。

二〇一四年の私は、春にグループホームを退去し、江東区でマンション一人暮らしをする事になります。

二〇一一年五月一五日からの三年近い病院・グループホームでの生活で、昼は無理やり体を動かし夜はきちんと休む事が大切だと痛感しました。今はグループホームでパソコンのネットが禁止されていますが、江東区に戻ってもネットサーフィンで徹夜する事のないよう充分注意したいと思っています。

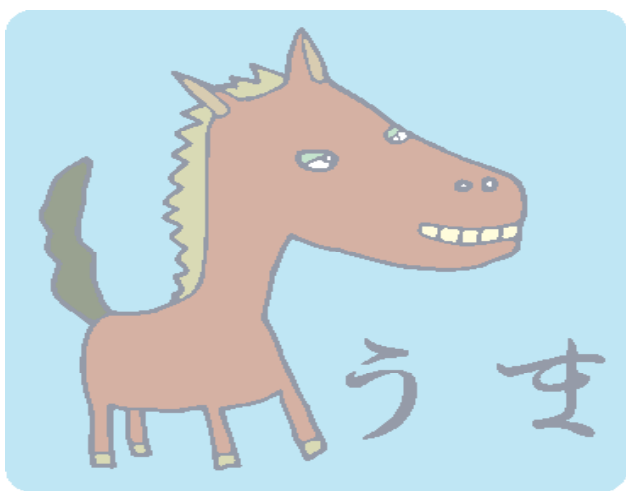
先程「自治体議会では共産党が唯一の野党」と書きましたが、江東区議会では、その限りではありません。「ほっとスペース八王子」と親しい、江東区の「しんまつ」を支えて下さっている会派の候補を応援したいと思っています。

それから講演会・集会で自分の体を壊す事のないよう気を付けたいと思います。

私は大学を中退し大分市の実家に住んでいた一九九七年、松山市の「ごかい」を訪れました。

ちょうどその時「月刊むすび」ロシナンテ社が「ごかい」に送られてきて「ほっとスペース八王子」を知りました。今年（二〇一三年）は、こんなに深く「ほっと」に関わるとは思っていませんでした。

グループホームでの残された日々を着実に歩みながら、新しいマンション生活に希望を持って生きて行こうと思っています。



くしづの御岳山参り

山口咲子

昔、行った時はそうでもなかったけれど、今度行った御岳山はハードだった。

ケーブルカーとリフトに乗って頂上について、カレーうどんを食べたのが印象的だった。

御岳神社に行くのに二十五分と書いてあったが、実際には一時間近くかかった。でも行って気持ちが良かった。またの機会を楽しみにしている。

御岳山日帰り旅行へ 行った事

リネカー

11月の20日に御岳山に日帰り旅行に行きました。

その日は御岳山は少々寒かったですが、ケーブルカーに乗り、山頂に着いた時には、天気も良かったので、ものすごい見晴らしが良く、遠くは新宿の高層ビル街まで見渡すことが出来、とても良かったです。

ただケーブルカーを降りて、道を頂上まで登って行くと、階段がとても陰しく、とても辛かったです。

引き返しに、戻って行くと、喫茶店があり、そこで皆さんは、お汁粉などを食べていました。ほっとから御岳山までは車で40分程でしたので、近くて



ケーブルカー麓、滝本駅にて



ケーブルカーからの車窓から1枚。

よかったです。

ただ11月なのに御岳山の土には、霜柱が立っていました。

さすがに山中なので寒かったです。いい日帰り旅行になりました。

御岳山日帰り旅行

孫悟麴

去る2013年11月20日水曜日、気持ちの良いくらいの晴天、ほっとスペース八王子の職員、会員併せて5名にて御岳山へ日帰り旅行に行きました。10時ちょうど出発の予定も若干オーバーしたものの、道中問題なく快適にドライブ。

途中トイレ休憩をはさみ、小一時間

ほどで目的地に到着しました。

そういえば以前、御岳山の入口にある大鳥居を何度も通り過ぎて行った記憶があることを改めて思い出した次第で、今回念願の初参りに至ったわけです。

そして今回、自分的に楽しみにしていた一つは、ケーブルカーです。往復約1000円の出費も、それを考慮すれば案外惜しくないものです。

ケーブルカーというのは、山をまっすぐレールに沿って登って行くものと思っていました。が、案外カーブがあったり、勾配も一定ではなかったりします。そして、なんといってもケーブルカー運行中の目まぐるしく変わっていく景色、紅葉の時期と相まって実にコントラスト鮮やかなものでした。



山頂に到着。



絶景を前にしての昼食。贅沢なひとときです。

ケーブルカーを下車してリフトに乗り換え、展望台へ。なだらかに霞みゆく多摩丘陵に生えている建物群。おぼろげに新宿副都心や東京タワー、東京スカイツリーも見えました。

そんな絶景を臨んで昼食へ。自分は山菜おこわにライスマンチ、モツ煮込みを食べたのですが、モツ煮込みがやたら臭かった印象があります。でも美味しかったです。同行者の中ではどうやらカレーうどんが人気だったようです。

休養十分で展望台を出発、向かうは御岳神社。時間やメンバーの動ける範囲を考慮すると、全部のハイキングコースを回るのは確かに不可能ではありましたが。そうならば、山頂にある御岳神社を目指すのは必然になります。

道中にある自然ビジターセンターから先、急に勾配がきつくなってきました。どちらかといえば、階段よりも坂道がきつかったです。

おみやげ屋さん通りを過ぎると、御岳神社の山門が現れました。しかし、ここから先が、階段階段、また階段。これはさすがに堪えました。

息を切らしながら登った先に、御岳神社がありました。この神社は、犬猫はじめ、ペットにご利益があるのだとか。なるほど、大連で参拝している人もかなりいました。自分もペットがいるわけではないですが、二礼二拍一礼。

山頂の風はあまりにも気持ちよく、紅葉もあまりにも鮮やかで、とても印象に残る日帰り旅行になりました。距離からいって、かなり気軽に行けるスポットだったのに、今まで行けな



山門を臨む。ここからが石段地獄（泣）



見事な紅葉。2色刷りなのがとても残念。

かったのは、とても残念なくらいです。山頂から下って、おみやげ屋さん兼喫茶店で休憩、甘いものが体にとっても沁みてきます。

ここから一気に下って、ビジターセンターでまたちょっと休んで、そこからまた一気にケーブルカーの駅まで。一気にとはいっても、道中の景色を楽しむ余裕はありませんでした。下りのケーブルカーに乗って、ふもとへ。帰るまでにアイスが食べたかったのですが、同行者の一人に止められて断念。

帰りは若干道路が混んでいたせいか、行きよりも時間がかかってしまいました。それでも、今回の旅行の目的である、「紅葉狩り」は、予定以上の収穫だったのではないかと思います。いずれまた機会があれば、再び御岳山を訪れてみたいものです。

私の大好きな韓国、おいしい韓国料理、何年前からつらい時に毎日見ていた韓国ドラマ、ラジオやテレビで少し勉強したハングル語、いろいろとこの10年くらい、韓国にあこがれて生活してきました。

通販で毎日見ている韓国コスメや食品は、日本に居ながら、韓国を少しずつ味わってきました。しかし今回自分たちの旅行で韓国旅行を実行しようと

ソウル旅行

今 健太



ライトアップされた東大門（トンデムン）



日も暮れた成田空港から、チェジュ航空機でソウルへ。

という話が出て私も本気なのかなと心配しつつ安いツアーを探してました。そして、3泊4日で1万4800円というツアーにあたり、今日で予約最終日という日にミーティングで発表して、4人の予約をとりました。今回は、ソウル生まれの力強い味方のMさんも同行してくださるとの事で、決まりました。

成田空港へは、一番安い行き方で、日暮里から特急で行きました。片道八王子から一五〇円です。成田空港について、チェジュ航空でチェックインして、無事に何事もなく通過しました。機内は、3列3列のやや狭い座席でしたが2時間半なのでこれで十分です。水だけが出ました。

仁川空港に着いたのは、夜の十一頃

で、おむかえバスが来ていて、江南の
ホテルに着いたのは、十二時を過ぎて
いました。その後みんなで近くのコン
ビニ行って食料と飲み物を買出し
に行ってきました。私は、韓国でしか
味わえない、緑色のペットに入った生
マッコリを買ってきました。なぜおい
しいかというと賞味期限が10日間しか
なく、生を味わうからソウルで飲むと
おいしいんです。

その後お昼は、会社員の昼食でこつ



（見づらいですが…）韓国へようこそ！！



昌徳宮付近の前庭もすっかり色づいていました。

た返す、牛骨スープ専門の店でたくさ
んキムチをおかわりして、満腹になり
ました。
その後、仁寺洞を歩き、伝統茶の店
に入りました。私は人蔘茶を飲みまし
たが800円ぐらいしたので高くてお
どろきました。円安のせいもありソウ
ルの物価は、いろいろ割高です。
午後は、繁華街の、明洞へ行き両替
したり、コスメショップへ行ったり、
買い物を楽しみました。また、明洞大
聖堂にも寄りました。
次に南大門市場に行き、ホットック
を屋台で千ウォンで買って食べ、見歩
きました。私は、貝殻の模様でできた
手鏡を六千ウォンで買いました。
疲れたのでコーヒーストップで休



昌徳宮にある仁政殿前にて。

み、夕食に行きました。

明洞あたりは観光客も多く、高い
店も多いのでどうするかと思いま
したが、Mさんが、安くておいしい、
豚焼肉とじゃがいも鍋の店へ案内して
くれました。豚の三枚肉の厚切りを焼
いて、サンチュとゴマの葉に包んで食
べました。鍋は、豚の大きな骨が入っ
ていて、骨につける少しの肉をとっ
て食べました。たくさんキムチやカク
テキをおかわりして、おいしかったで
す。

その後トイレにかけ込んだHさんが
トイレから二十分程出て来なくなり、
心配してました。キムチでおしりが大
変だったということでした。ソウルは、
マイナスでとても風が冷たいのにこの

様な食事をしていると体が暖まり、あ
まり寒く感じなかったのはとても思
議でした。

ホテルにもどって、また夜には、部
屋に集まって、お話し会をしました。
今日も一日、とても楽しかったです。
三日目は、朝食を近くののり巻店で
食べました。チェーン店らしく、ひと
とおりのメニューがあり、のり巻、ピ
ンバツ、キムチチゲ、ユッケジャン
クッパをたのみました。その後地下鉄
に乗り、南山タワーに行きました。

山でした。歩いて三十分すごい山を
登りました。頂上で、かわいい有名な
くまのぬいぐるみの店があり、少し見
ていると、Mさんが私のくま好きを見
ぬいていて、かわいいくまさんをくだ



牛肉の温麺とごはんキムチ。実に美味そうです。

さいました。ドラマでもよくでてくる
ティ・ベアの店のくまさんは、チマ
チヨゴリを着ていて、とてもかわいく、
 IPPダ（ハングル語でかわいい）と
名づけてもらいました。喜んで下山を
して梨泰院^{イテウォン}に買い物にタクシーで行き
ました。皮製品やアメリカ製品の売っ
ている店がたくさんあり、お昼で油茶
をしました。

そして私が日本のTVで紹介されて
いた広蔵市場^{グワジャンシジャン}へ食事に行きました。

市場は、食事の店でいっぱい、私
達は、座敷がある店へ入り、小豆がゆ、
かぼちゃがゆ、トッポッキ、スンデ（韓
国豚の腸詰）、韓国そば、をみんな
で分けあって食べました。

一人1300円くらいでした。それ
から、東大門市場^{トンデムシジャン}まで歩き、ゆず茶の
安いものをHさんが買う所をさがして



ソウル市庁舎近くにあったティ・ベア。



南山公園からソウル市内を臨む。夜は夜景が…

いました。私は、その間、メイドイン・
コリアのチオンのくつ下を、女性メン
バーにおみやげに買いました。そして
朝鮮人参を二千ウォンで三本買ってM
さんの交渉で一本小さいのをおまけし
てもらいます。それは今、焼酎にしっ
かり漬かっています。胃の悪い人には
とてもよくきくそうです。一年後が楽
しみです。

その後ホテルに帰りました。この3
日間たべ歩きだったので、今回の夕食
は、コンビニでカップラーメンを買っ
てきて、すませました。

Mさんは、ソウルに住む娘さんに
会っていました。残った三人は、ラー
メンを食べてました。Mさんが帰って

きて、高級のりをみんなにおみやげを
くださいました。

また雑談をして、明日早いので寝ま
した。ホテルに朝4時45分集合でバス
が来ました。

途中、日本人向けおみやげ店へ行か
されて、空港へ向かいました。安いツ
アーの日本人客が朝早い飛行機の便に
乗るので、たくさん女性日本人がいま
した。空港に着き、無事チェック・イ
ンができ2時間飛んで帰ってきました
た。帰りは空港で、リムジンバスを半
額になるか聞いたところ、手帳を見せ
たら半額になったので、新宿までリム
ジンで帰りました。新宿で海鮮丼八百
円のランチを食べまして、解散しまし
た。心に残るソウル旅行、味わいのあ
る4日間でも楽しかったです。
また、こんな形で自由に旅行したいと
思いました。

韓国旅行について

ほっとスペースのポップ・ティラン

11月18日（月）から21日（木）まで韓
国旅行に行ってきた。

ソウルを主に観光したので、ソウル
旅行と呼ぶ方がふさわしいのかと思ひ
ます。メンバーは男性2人と女性2人

で合計4人でした。

僕は成田空港で皆に合流しました。
早めに到着したので、本屋でTIME
という雑誌を購入しました。機内で読
むためです。英語の勉強にもなります。
これからは記憶に残っている事だけを
書くこうかと思っています。記憶にはあ
まり自信が無いのですが……。

予定表には東京からインチョン空港
までは2時間半という事でしたが、実
際は2時間10分でした。

機内のスペースはかなり狭かったで
す。飛行機は無事に成田空港を離陸し
インチョン空港に着陸しました。着陸
の瞬間には拍手をしたい気分でしたが、
どこからも拍手はおこりませんでした。
入国審査を終え、荷物を受け取ると、
韓国のH・I・Sの方が出迎えてくれ
ました。H・I・Sのチャーターした



韓国には、日本の侵略時代からのおごきな
歴史のある明洞大聖堂もあるのです。



南山公園の象徴(ランドマーク)から、ロープウェイで降りました。

バスでホテルに向かいました。遅くにエム・ビズホテルという所に到着しました。インチョン空港も寒かったけど、ホテルの周りもとても寒かったです。ホテルに着いてから、また皆で外に出て、コンビニで酒とかおつまみを買って来て、ホテルの一室で4人で飲みました。お酒はマッコリというのを飲みました。

11月19日(火)は朝早く起床して、皆で食パンを食べました。ホテルはサムソン駅の近くでした。近くの駅から地下鉄に乗って、ソウルの中心部に向かいました。中心部まで地下鉄で1時間半くらいかかりました。Mさんが地下鉄のチケットを買ってくれたので、僕は、未だにチケットの買い方が分かりません。

19日(火)と20日(水)が観光にあて



地下鉄のプラスチック製の乗車券を買う所です。

られました。商店街や宮殿等に行きました。20日(水)にはソウル・タワーのある山にも登りました。

この旅行では、本当に良く歩きました。一日中歩いていていた感じがします。

あともう一つ触れておきたい事が食事です。いろいろな韓国料理を食べました。キムチは毎回無料で付いてきました。牛肉を煮た物にそばが入っている物も食べました。ビビンバも2回くらい食べました。豚肉を焼いた物をシタスにくるんで食べたのもありました。じゃがいもと骨付き豚肉を煮た物も食べました。午後2時になっても皆誰も何も食べないので、僕だけ一人でマクドナルドのハンバーガーを食べました。もちろん皆の許可を受けてからです。



韓国では定番のひとつ、トッポッキ(お餅の料理)

食事に関しては何も文句のない旅行でした。20日(水)の夕食はカップラーメンで済ませました。それでも充分でした。また、買い物についても触れておきたいと思います。衣類の物価が安いみたいです。中国製のマフラーと手袋を買ってしまいました。ダウン・ジャケットも買いそうになりましたが、やめました。後買ったのは、おみやげのあめとチョコビスケット、タバコ2カートンぐらいです。

21日(木)の午前4時50分くらいにツアーのバスがピックアップに来ました。

帰りの飛行機は午前8時30分離陸しました。やはり離陸の時と着陸の時が一番緊張します。離陸の時は少し恐かったです。



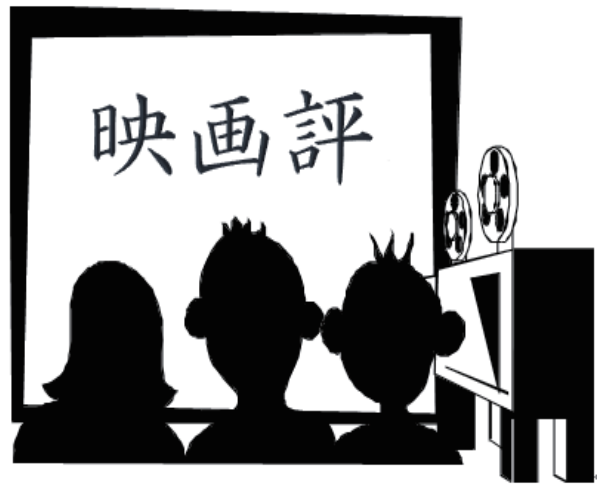
さらば東大門、また来る日まで。

たです。着陸の時はさげびたい気分でしたし、生きて帰って来られたと思いました。

最後に「まとめ」として書きますが、今回の旅行は全体として見れば、なかなか良い旅行だったのではないでしょう。値段的には2万円前後でリーズナブルだと思います。

僕は一人旅が好きです。けれども、ツアーもなかなか良いものだと思いました。

また、韓国人の方と一緒にだったので、いろいろな所に案内してもらい、地下鉄にも何回も乗りました。食事もとても美味しかったです。さらに多くの人達がこの旅行に参加されると、さらに良いなと思います。



映画評

魔法少女

まどか☆マギカ
（新編 叛逆の物語）

孫悟麵

以前の号で予告した通り、魔法少女まどか☆マギカの続編映画が上映されているので、レビューしたいと思います。

あらすじ（ネタバレ注意）

美しい自然と、どこことなく類廃的な空気が混在する美滝ヶ原。

そこでは夜な夜な人々を不安に陥れる、夢魔（ナイトメア以下夢魔）が現れるようになっていました。しかし、

それを狩る5人の魔法少女たちがいました。佐倉杏子（以下杏子）と美樹さやか（以下さやか）がナイトメアを引きつけ、巴ミ（以下マミさん）が動きを封じ、曉美ほむら（以下ほむら）と鹿目まどか（以下まどか）が協力してナイトメアを退治。そして、もう一人の魔法少女が…？一見して、完璧とも思えるチームワークを持っている5人の魔法少女。しかし、何か違和感がぬぐえません。

前作では、まどかの強い願いにより、すべての魔女（夢魔の前に人間界へ干渉して負の影響を与えていた存在）は、魔女以前の更に魔法少女以前の状態に



まで戻し、円環の理（ほむらによって閉じられてしまった空間）を解放し、その影響でさやかは昇天、まどかは人々の記憶から消えると同時に神とほぼ同一の存在に昇華したはずでした。残された3人の魔法少女は、いなくなった魔法少女の代わりに魔獣と呼ばれる存在を狩る者となったはずでした。

円環の理から解放されたはずの日常生活も、何かが違っていました。

ある日、ほむらとさやかのクラスに、転校生がやってきました。その転校生は、まどかだったのです。どうも、世界も変わって、ほむらとまどかの立場が入れ替わったようです。杏子もマミさんも何の違和感もなくまどかを受け入れ、冒頭のように5人で夢魔を狩るチームになりました。

しかし、最初に違和感を感じたのはほむらでした。ある時、杏子にそのことを持ち掛け、美滝ヶ原を出てみることにします。しかし、明らかに市外行きであるはずのバスは出発地の停留所に戻り、市境から徒歩で市外に出ることを試みても、上手くいきません。つまり何らかの作業によって、再び世界が閉じられてしまい、その影響でさやかとまどかも戻ってきてしまったようです。

しかし、円環の理は確かに解放され



おなじみ(?) 魔法少女5人組。

たはずです。ほむらと杏子は、真相がはっきりするまで口外しないように申し合わせました。その後、美滝ヶ原はどうにも作り物のような感覚を二人に与えました。

5人の魔法少女十一人（円環の理でお菓子の魔女だったシャルロット、また、円環の理の中でマミさんを殺害した存在でもありました。この閉じられた世界では、普段百江なぎさという名の女の子、夢魔と戦う時はベベとして活躍します。マミさんの子分という手下みたいな存在でもあります）以外は人さえも何かがおかしいのは明らかになってきました。

謎を調べているほむらの前に、それまで大人しくしていたインキュベーター



染され、ある時臨界を迎え魔法少女は魔女となってしまう。何度か繰り返された円環の理により、ほむらのソウル・ジェムは魔女となる臨界などほむらに超えていました。

どうやら閉じられた美滝ヶ原は、ほむらが意識しないにかかわらず、生み出された世界だったようです。真相を知り絶望するほむら。その負のエネルギーはQBに付け入る隙を与えませんでした。他の魔法少女たちは、なんとかしてほむらを救い出そうとします。そして、神と同一の力を持ったはずのまどかはほむらのために手を差し伸べましたが、この時こそ、ほむらにとって千歳一遇のチャンスだったのです。

ほむらも、まどかと同等の力を得るに至っていました。まどかを神とするならば、ほむらは、言わば悪魔ともいふべき存在になっていたのです。

結果はともかくとして、ほむらの一連の行動は、すべてまどかを想ったことだったのです。悪魔的なまでのまどかへの想い、それをほむらは愛だと言いつつ切りました。そしてまた平和な日常が戻ってきました。表向きは、円環の理の軌から解放されたはずのさやかとまどか、そしてQBもほむらの作り出した世界に縛りつけられました。マミさんも杏子も、釈然としないまま

ほむらに抗う術もなく閉じられた平和な世界の中で生きていかざるを得ないことを悟りました。はたしてこのまま終わりのなき日常を過ごしていくことになるのでしょうか…

感想

あらすじの説明が長くなりましたが、この映画はそれだけ、独自の世界観を持っていて、実は萌えだとかキャラクターが可愛いという要素を考慮する必要もなく、大人が見ても評価に耐えうる作品なのではないかと思われまふ。ただ、多少注意して観ていないと、話の筋がわからなくなってしまう虞が十分にあります。また、前作を観ていないと解らない要素も多分にあります。

逆に、一部の映画通にとっては解りづらいだけのつまらない作品かもしれない。



今回のキーパーソン？とも言える百江なぎさ。

れませんし、自分が観てもやっぱり、ちょっと敷居の高い作品である、という印象は否めません。それでもこの映画が面白かったかといえば、やっぱり面白かったというのが正直な印象です。

描写については、前作のようなグロテスクなシーンは少なくなりましたが、相変わらず美滝ヶ原の類魔的な感じはそのままでした。要するに前作よりもさらに、非現実感が強くなった印象です。このことが、この作品の敷居を上げているような気がします。

あとは、以前にも増して、登場人物の心理的なもの、心の動きというのが視覚的にかつダイナミックに表現されていて、とても面白く鑑賞することができました。

キャラクター考察

登場人物についてですが、大きな変化の見られない美樹さやか、巴マミ、佐倉杏子、QBについては簡単に流します。

まず、さやかについてですが、現実の存在として戻ってきたことに気づいたとき、かなりの戸惑いを見せていたようです。まあ、実際には絶対にあり得ないことが起きているのがこの作品

の世界観であり、設定でもあるわけですし、さやか的心情は想像にまかせるしかない部分もありそうです。かつて想いを寄せていた相手(恭介)や恋敵(仁美)に対しては吹っ切れたみたいだし、ほむらの強大な力で生存という形で世界に固定されたみたいだし、まずはよかったよかった…のでしょうか…

次に巴マミ。ワルプルギスの夜などなかったかのように普通に振る舞っているマミさんですが、やっぱり存在している世界がなくなるとおかしいことには気づいているようで…さすが先輩格の魔法少女、と言いたいところなのですが、一度魔女化したさやかや、ほむら、まどかにはすでに力量について及ぶところになく…

次に佐倉杏子。野性的なおいがしそうな風貌と、ツンデレ(?)な性格が人気を呼んだ杏子でしたが、今回は活躍の場面も若干減少して残念です。それでも、世界の謎には積極的に取り組んだり、最後の場面では、ほむらに抵抗しようと試みるあたり、杏子らしさは失われていないな、という感じですね。

次にQB。序盤、まったく無言だったの、何か企んでいるのか、あるいはひょっとしてほむらの創った世界で、目立たずに固定化されてしまった

とか、いろいろ想像しましたが、どうやらほむらの魔女エネルギーを狙っていたふしはあったようです。なんか前回ほど物語上重要なキーワードが少ないうような気がしますし、今回のことで、QBとほむらは決定的に敵となった気がします。

そして、ベベこと百江なぎさ(以下ベベ)。考察するまでもなく、ベベはお菓子の魔女シャルロットのなれの果てであることは明らかなのですが、それが、円環の理の中で、どのように紛れ込んだのか、映画では言及はありませんでした。前作では、魔女はソウル・ジェムの汚染で変化し、魔法少女の力によってのみ浄化され、現世からは消



ほむらはまどかを強く想うあまりに覚醒した。

滅します。ベベが百江なぎさとして留まったのも、円環の理の力に依るものではないかと考察されます。(ひょっとしたら、歴史上の《魔女》とされた者たちも、円環の理の軌に引き込まれたのかもしれない)

次に、曉美ほむら。タイトルには「まどか」とついてはいますが、真の主人公は、この曉美ほむらだったのかもしれない。ほむらを語るうえで欠かせないのは、まどかとの関係です。

前作では、保健委員だったまどかが内気だったほむらに、校内を案内するところからが原点でした。途中までは友達以前の関係だったのです。いつしか次第にほむらはクールな性格になっていくのですが、二人の関係が逆転することはありませんでした。それが今回では、ほむらの創りだした世界の中で、ほむらが転校生のまどかを案内する立場になります。友達を失いたくない気持ち、円環の理の中で増幅されて、そのことがほむらの心を取り込み拘泥させ、ついには神に匹敵する力をつけたまどかをも捕える結果となりました。このことについて、ほむらは「愛」だと定義つけます。

ここで最後の鹿目まどか。平凡だけど幸せなものだった家庭から、過酷な魔法少女を運命づけられることにな



結局まどかは、新世界の神にはなれなかった。

ります。まどかも、繰り返される円環の理の中で、魔法少女の資質とともに、ほむらとの結びつきを強めていったように思います。ほむらを救うつもりで円環の理を解放したまどかだったので、魔法少女化したほむらを解放した、と思われたまさにその瞬間、まどかはほむらに捕われてしまいました。そしてほむらによって創られた世界の中で、一から関係をやり直しさせられることとなります。記憶すらも変えられて…結局、力量としてはともかく、まどかは神として存在するにはあまりに未熟な存在だったのかもしれない。

以上、ざっと説明するつもりが、か

なり長い文章になってしまいました。申し訳ないです。

今回は明言されていないのですが、まだ続編が作られるということですが、噂の域を出ませんが、次回作も、楽しみにしています。

終了



就労継続支援事業 という形での活動

安兵衛

「ほっとスペース八王子」が障害者総合支援法の下で活動を始めて、はや十一ヶ月。いろいろな問題が現れてきました。

まず、これについては以前のニュースでも述べていたと思いますが、利用費を支払わなければならない仲間が「ほっと

スペース八王子」から離れていったこと。これは、同じ仲間でも利用費を支払う仲間と支払わなくても良い仲間との間に溝が出来ていたことを示しています。

別に、溝を作り出そうとしている訳ではありませんが、法がそういう状況を生み出しています。

また、「ほっとスペース八王子」の共に支え合いながら生活していくという「共生・相互支援」という理念が全員の血となり、肉となるような活動ができていないことを示していることでもあります。

次に、就労している仲間の利用が認められないということです。

もちろん、就労している仲間も利用して構わないのですが、法律では正式の利用ではなく、利用する側からすれば「お客様」扱いとなってしまうので、利用しづらいということもあります。

法内移行するに際して、やる気満々の仲間達はのんびり一日を過ごそうとしている仲間との間に溝を感じる場面もありました。当事者でPSWの資格を持っている仲間、当事者で障害者枠で「ほっとスペース八王子」の非常勤職員となった仲間、いずれは非常勤職員になろうと考えている仲間などが起業精神を横溢させて、やる気を出して頑張ろうとしますが、のんびりと一日を過ごそうと考えている

仲間との間に温度差と言語の違い（ダブルスタンダード）が存在するので、イライラし、ストレスを感じているくらいがあります。

かと言って、やる気を横溢させている仲間も通常の「健常者」ペースで物事を進めることが出来ている訳でもありません。その分、自分自身も引き裂かれるような気分になりながら頑張っているのです。

この亀裂が法内移行直前の二月の半ばに爆発的に生じてしまいました。

僕や理事会全体が法内移行して頑張ろうと「やる気のある仲間」達と従来のスタイルのママで「のんびりペースで一日を過ごそうとする仲間」達との両方に適切な対応が出来なかったこと、両者に溝が生じていることに対して適切な手当が出来なかったことが大きな原因だと思っておりますが、結局空中分解してしまいました。

この対立は「障害者総合支援法」そのものが持つ矛盾なのか、僕や理事会の力量不足なのか。「就労を望んでいない仲間」と「就労と言うよりは起業をしようと思う仲間」との間を取り持つ言葉を持てなかった。そして存在足りえなかったことは事実として反省をしています。

（つづく）

編集後記

▼全国1500人（推定）の「ほっと」読者の皆様方、お待たせしました、第144号の発行です。

▼予定では、もっと早く発行する運びではあったのですが、編集委員の一人が、インフルエンザをこじらせて入院するといった事態が発生してしまい、花薰るこんな時期の刊行となってしまいました。まったくグウの音も出ません。

▼話変わるのですが、4月1日より、消費税が8%に上がってしまいました。予算に群がる各省庁の姿を観ていると、この国の政治は何一つ変わっていないのでは、という暗澹たる気持ちにさせられます。財政再建とか、社会保障のためにはやむを得ず上げるのではなかったのでしょうか。

▼そんな中でも、当誌「ほっと」は、頒布価格100円というのは変えることはありません。これからずっと。末永いご愛読をお願い申し上げます。編集後記を締めさせていただきます。

（編集部）